

離島応援終了（おつかれさまでした！）



かわさき たいすけ
川崎 泰介
湘南鎌倉総合病院
期間：11月

Q 期間中に経験したこと
A 患者様の生活背景やニーズまでじっくりと考えることができました

応援という形でできましたがむしろ多くを学びました

Q 今後について
A 脳神経外科医を目指します

Q 石垣島の思い出
A 初めは一人で川平湾のガラスボードに乗っていましたが後半は一緒に海にもぐったりご飯を食べたり歌い踊り楽しむ合う仲間ができました

離島応援終了（おつかれさまでした！）



うへはら ひでお
上原 英生
南部徳洲会病院
期間：10月・11月

Q 期間中に経験したこと
A 初めて患者家族や他職種とのカンファレンスに参加して患者様に対するいろんな考え方や目線があることを学んだ

Q 今後について
A 麻酔科医の道に進みます手術麻酔を勉強したです

Q 石垣島の思い出
A 初ダイビング！意外と楽しかったです

思い出のアルバム



永年勤続表彰（12月1日）

今年は6名が永年勤続の功績に対して表彰を授与されました

- 20年 総務課：池間 亨さん
- 10年 薬剤師：木村啓子さん
- 10年 看護師：伊志嶺悦子さん
- 10年 看護師：宮良久美子さん
- 10年 医事課：仲筋 誠さん
- 10年 医事課：神谷真樹さん

私は職場は2ヶ所目ですが、徳洲会で育ちました。これからの10年も頑張ります。
薬剤師：木村さん



看護部キャリアアップ研修で学んだこと（報告書より一部抜粋）

石垣島の研修を希望したのは、実際に石垣島で生活しながら離島の現状を詳しく知ることができるからだ。自分の視野や考え方を広げ看護感の変化に繋げることができると思ったからだ。石垣島に着き最初に驚いたのは物価の高さである。また、沖縄県の平均年収は全国で最も安い。しかし、観光化が進む石垣島の食事は油を多く使ったものや味の濃いものだったりする。これにより生活習慣病の増加に拍車がかかっているように感じた。また、透析ベッドが足りず透析旅行客の受入れができる病院が減っていた。マンパワー不足と生活習慣病の増加が懸念された。そんななか石垣島徳洲会病院はスタッフの大半が応援や派遣・研修であり他病院との協力体制を作ることによって島の医療を維持していた。私の研修は病棟・外来・透析室・訪問看護・通所リハビリ・心カテ室・内視鏡室と病院のほぼ全ての部署でした。今回の研修を通して離島では限られたマンパワーの中で各部署・病棟の閉鎖感を極力取り除き協力し合うことで地域医療の提供を可能にしていることが分かった。今後、羽生総合病院は新築移転を控えています。石垣島徳洲会病院同様に職種や部署間の蟠りを取り、協力していけるよう行動していきたい。また、応援にきたスタッフが再度羽生病院の協力をしたいと思えるような環境を作りたいと思う。職種をこえて協力することで地域医療は活性化する。自身の看護感も「協力することの重要性」がより強いものになった。



さいとう ひろき
齋藤 弘毅
羽生総合病院
期間：10月16日～31日
写真 左から2番目

